

パリジェンヌに愛された画家の全貌に迫る

デュフィ展

Rétrospective RAOUL DUFY

絵筆が奏でる色彩のメロディー

圧倒的存在感!
高さ約2.2m、
幅約2.7mの
大作も!



2014年8月5日(火)～9月28日(日)

開館時間:火～金/10:00～20:00、土・日・祝/10:00～18:00(入館は閉館30分前まで)

休館日:月曜日(ただし、9月15日は開館)

主催:あべのハルカス美術館、産経新聞社、関西テレビ放送

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

協賛:トヨタ自動車、大伸社、八木通商

協力:エールフランス航空/KLMオランダ航空

【デュフィ展公式HP】<http://event.chunichi.co.jp/dufy/>

《馬に乗ったケスラー一家》1932年 油彩、カンヴァス テート ©Tate, London 2014



90^e ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS
日仏文化協力の90周年



〒545-6016

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

お問い合わせ:06-4399-9050

【美術館公式HP】<http://www.aham.jp/>



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM



デュフィ展

Rétrospective **RAOUL DUFY**

ラウル・デュフィ(1877-1953)は、ピカソやマティスなどとともに20世紀前半にフランスで活躍した画家です。彼は1937年に開催されたパリ万国博覧会のための装飾壁画《電気の手》に代表されるような、明るい色彩と軽快な筆さばきで描く独自のスタイルを築きました。

本展は、デュフィが1899年に故郷のル・アーヴルから国立美術学校で学ぶためにパリに出てきたころから晩年に至るまでの作品を紹介する回顧展です。20世紀初めのパリでフォーヴィスムやキュビズムによって造形の革新を試みる動向のただなかに身を置きつつ、また様々な分野を横断しながら自らの独創的表現の探求を続けたデュフィの歩みを辿ります。

(会期中、一部展示替えがあります。)

関連イベント

講演会

「デュフィとボワレ パリジェンスを虜にしたデザイン」

日時：8月10日(日) 13:30～15:00
(13:00 16階美術館前にて受付開始)

講師：深井晃子氏
(京都服飾文化研究財団 理事/チーフ・キュレーター)

会場：あべのハルカス会議室

定員：80名(先着順)

対象：本展観覧券または観覧半券をお持ちの方(聴講無料)

蓄音機コンサートとトークショー

「デュフィの聞いた音」

第1回 “蓄音機とクラシック音楽”

第2回 “電蓄の蒨蓄とシャンソン”

日時：第1回 8月24日(日)、第2回 9月7日(日)
両日とも13:30～15:00
(当日13:00 16階美術館前にて受付開始)

講師：松井久氏(蓄音機隊 隊長)

会場：あべのハルカス会議室

各回定員：80名(先着順)

対象：本展観覧券または観覧半券をお持ちの方(聴講無料)

ドビュッシー Day

「ドビュッシーの誕生日記念 プレゼント」

日時：8月22日(金) 10:00～
ご入場先着100名様に《クロード・ドビュッシーへのオマージュ》のポストカードをプレゼント

★イベント等、追加情報は公式HPをチェック!!

【デュフィ展公式HP】 <http://event.chunichi.co.jp/dufy/>

ポンピドゥー・センター、テート所蔵の代表作を含む大回顧展!



1 《トルーヴイルのポスター》1906年 油彩、カンヴァス
パリ国立近代美術館、ポンピドゥー・センター



2 《ニースのホテル》1927-1928年 油彩、カンヴァス
鎌倉大谷記念美術館「大谷コレクション」



3 《クロード・ドビュッシーへのオマージュ》1952年
アンドレ・マルロー近代美術館、ル・アーヴル



4 《マキニスム》1950年 水彩、グアッシュ、紙
個人蔵(ルイ・カレ・ギャロリー協力)



5 《ポール・ボワレ イヴニング・ケープ》1925年
オレンジのラム・ジャカードにプリント
京都服飾文化研究財団所蔵、高山崇徳影



6 ラウル・デュフィ/ジャンジャック・フロロンジュー
《青い背景に水浴女が装飾された花瓶》1945-49年頃
陶土、化粧掛け、鍍を含む釉薬、掻き落とし、筆による施釉
ラロック・グランオフ・コレクション、パリ



7 《チェイئر(公園)》1924-1933年
ブナにラッカー塗装、ボワヴェのタペストリー、ワールと絹
モビリエ・ナショナル、パリ



音声ガイド・ナビゲーターは中谷美紀さん!!

「デュフィの色彩に心踊らせる日が来ることを
楽しみに待ち望んでいます。」

※ナレーターは斉藤茂一さんが担当します。中谷さんのナビゲート
とともにお楽しみください。

1. ©Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / Philippe Migeat / distributed by AMF 3. ©Florian Kleinemann
4. ©Galerie Louis Carré & Cie photographes. © A. Rzepka 6. Collection Larock-Granoff Paris 7. Collection du Mobilier national Numérique ©Isabelle Bideau

| 観覧料(税込) | 当日 | 前売・団体 |
|---------|--------|--------|
| 一般 | 1,400円 | 1,200円 |
| 大学・高校生 | 1,000円 | 800円 |
| 中学・小学生 | 500円 | 300円 |

※団体は15名様以上

※障害者手帳をお持ちの方は、ご本人と付き添い1名様まで当日料金の半額

《前売券販売期間》2014年8月4日(月)まで

《主なチケット販売場所》

近鉄駅営業所、チケットぴあ(Pコード766-250)、ローソンチケット(Lコード52060)、イープラス・スマートイープラス(スマートフォンチケット)、ファミリーマートほか ※手数料がかかる場合がございます。

※大阪市立美術館では7月19日(土)～10月13日(月・祝)に「こども展」を開催。「デュフィ展」の観覧券(半券可)を天王寺公園入口(天王寺ゲート)の美術館案内所でご提示いただくと、当日料金から100円引きでご入館いただけます。



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

お問い合わせ：06-4399-9050

【美術館公式HP】 <http://www.aham.jp/>

《アクセス》

あべのハルカス美術館へは、ハルカスシャトル(エレベーター)【乗り口:1階】をご利用ください。

近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR・地下鉄「天王寺駅」、阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ

駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

●新大阪から：地下鉄御堂筋線新大阪駅～天王寺駅 約21分

●梅田から：地下鉄御堂筋線梅田駅～天王寺駅 約15分

※所要時間は、昼間標準です。

